

○協力隊通信創刊
みなさま、こんにちは。8月に塩江地域おこし協力隊に着任した村山淳(むらやまじゅん)です。これから2ヶ月に一度くらいの間隔で塩江町内に通信を配布させていただきます。「地域おこし協力隊」がどんな仕事をしているのかを発信していくので、ぜひお読みいただいて「ご意見をお聞かせください」。

○自己紹介

改めて、自己紹介をさせていただきます。私は福島県いわき市三和町の出身です。住んでいた村は山あいの村で、塩江よりもずっと田舎でした。どねくらい田舎かと言っと、現在の人口が2000人くらいと言えば想像できるでしょうか。

高校まで福島で暮らし、大学進学のために東京にきました。中央大学文学部で西洋史学(古代ローマ帝国史、イギリス史など)を学び、その後スロットリランド・ゲール語という言語を習得しに英国、グラスゴー大学に留学しました。帰国後は一橋大学の言語社会研究科で歴史学、言語学、英米文学などを学び、修士号を取得して今に至ります。経歴の通り、本に囲まれて生きてきたので、歴史や文学の話が大好きです。なぜ私が塩江にきたのかを書くにはスペースが足りないのじゃないかなる方はぜひお声かけください。普段は塩江支所2階のコミュニティセンターで仕事をしています。

9月7日、塩江小学校の3年生と蕎麦の種蒔きをしてきました。先任の淵崎さんが力をいれてきた事業で、今年から私も協力させていただくことに。珍しい赤い花の蕎麦「高嶺ルビー」を、畝を丁寧に作って蒔いていきました。種蒔きは大人でも性格がでるものですから、子供ではなおさらです。一粒一粒、几帳面に並べていく子もいれば、一掴みしてばらまく子も。蕎麦と一緒にその子の個性が見える形で芽生えるのだらうと思うと、微笑ましい光景でした。



畝に蕎麦を蒔く塩江小3年生

10月中頃には塩江小の裏に赤い花畑が見えると思います。ぜひ立ち寄ってください。

次回は刈り取りの様子を報告できると思います。

発行：塩江町地域おこし協力隊 村山 淳
淵崎 義之
メール：jun.tachikawa@heliolea.com
Facebook：「塩江温泉地域おこし協力隊」